

# 2次元複屈折計測とその活用事例

**日時** 平成30年10月11日(木) 13:00~16:00

**場所** 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(本部)  
東京都江東区青海2-4-10

●ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前

●りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩15分 [朝夕無料送迎バスあり3分]  
都営バス海01 テレコムセンター駅前下車

**受講料** 2,300円

ガラスの歪みや樹脂の分子配向などによって生じる複屈折を可視化する方法として偏光が用いられます。複屈折の大きさや方向は歪みや配向の定量的な指標となるため、これらの2次元分布情報は成形条件の最適化や良品・不良品の評価などに役立ちます。

本講習会では、都産技研の機器利用でも多くの方にご利用頂く、2次元複屈折評価装置メーカーより外部講師をお招きし、データの解釈と活用事例についてご講演いただきます。また、複屈折や偏光という言葉に馴染みはない方向けに、上記講義の準備として複屈折計測の基礎を職員からご紹介します。

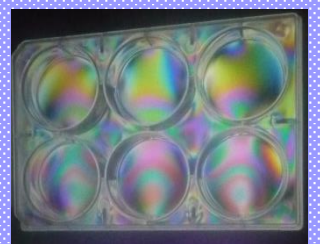
既に複屈折計測を利用されている方や利用を検討中の方を対象に、少人数のインタラクティブな講習会を通して、データをより有効にご活用頂くことを目指します。



マスコットキャラクター テリノ

定員

5名



## 講座内容・スケジュール

時間	科目	講師
13:00~14:00	【講義】複屈折計測の基礎	東京都立産業技術研究センター 光音技術グループ 職員
14:00~15:30	【講義】複屈折測定装置WPAシリーズによるデータの解釈と活用事例	株式会社フォトニックラティス 取締役副社長 井上 喜彦氏 装置のキーデバイスであるフォトニック結晶の量産化プロセス開発に取り組み、複屈折計測に関するご講演多数。
15:30~16:00	【実習】実験室にて実機(機器利用設備WPA100)でのデモ測定等	各講師